

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	入居者の高齢化に伴い、重度化や終末期に接する機会も多くなった。御本人や御家族の意向や希望を窺ったり、医師との連携を図りながら、支援を行っているが、終末期に向けた外内部研修の参加、実施が出来ていない。	「最後まで優海で生活をしたい」と希望して下さる思いに対して、出来る限りの支援をしていく。	外部研修に参加しやすいような勤務体制等、環境の整備を行う。また、職員の勉強会を実施して意識の統一化やメンタル面のサポートも行う。地元診療所の医師が終末期の在宅医療に対して理解があり積極的であるため、話を聞く機会が設けられるように相談、協力を求めている。	12ヶ月
2	35	年2回火災避難訓練は実施しているが、風水害等に関しては、ビデオの上映をしながらの勉強会のみにとどまっており、万が一の際の避難誘導に関して不安が残る。	火災避難訓練と同様に、年1~2回風水害に対しての誘導避難訓練を実施して、安全確保に努める。	近隣の住民や地元消防団に声をかけ、協力をしていただきながら避難訓練を実施する。また、梅雨の時期などホーム横の川の水量にも気を配り、いち早く危険を察知するようにする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。